

10月27日

釜戸町文化祭に

13名の生徒がボランティア参加



日吉町に続き、釜戸町でも文化祭が開かれ、中学生ボランティアが活躍しました。二日間の計画でしたが、一日目の26日(土)は、前日が授業参観日だったため参加できませんでした。二日目の27日(日)にボランティアとして参加した13名の生徒は、与えられた役割に意欲的に取り組むと同時に、芸能部の全員合唱にも進んで参加して文化祭を盛り上げました。

二日目に計画されている芸能部の司会を務めたのは3年の林武弘さんと林弘宏哉さん。マイクを片手にはっきりとした口調で進行していました。事務局の方から、「自分の思いも入れて話す部分もあった。それがすぐにできるのはすばらしい」とうれしい言葉をいただきました。

このほかに各ブースやコーナーに分かれ、それぞれの持ち場で積極的に働きました。購入物だけではなく、笑顔と共に提供していた姿が印象的でした。

社会福祉協議会釜戸支部のお手伝いとして、被災された地域への義援金募金を集めました。「募金お願いします!」と大きな



声で会場を回りながら募金を集める姿に刺激され、地域の方たちも進んで協力してくださいました。

今回の文化祭では、ボランティアとして参加したことだけではなく、北中学校として出品した作品にも注目が注がれていました。とりわけ、3年生のスクラッチボードについては地域の方は初めて見たということで、「上手やなあ」「どうやって作るのだろう」と興味津々

でした。

また、文化祭の盛り上げ担当としての役割も果たしました。日吉町の文化祭でもそうでしたが、会の最後は全員合唱で締めくくりました。毎日合唱に取り組んでいる中学生リードして歌うことで、地域の人たちも歌いやすくなるはずです。普段培ってい



芸能部の全員合唱にも参加しました。



鶴城の「笹踊り」におひねりが飛びました。

る合唱の力もこのように地域貢献のアイテムになるのです。

釜戸町の文化祭では、鶴城の「笹踊り」が披露されました。地域の子どもたちが伝統を直接担っているこの笹踊りを、釜戸町の人たちは温かく見守っていました。踊りが終わったときには多くの「おひねり」が投げ込まれていました。